

松葉園では、2名のリハビリ専門職が皆様の身体や生活を支援しています。

今月のリハビリ風景

歩行訓練中♪
ゆっくり歩いてくださいね。



胸を張る体操は、
背筋が伸びて気持ち良いですね。



リハビリ小話

認知症シリーズ⑬

先月号では**仕事上よく聞かれる質問トップ3**の①、②を紹介しましたので、今月は③を紹介します。

③身近に認知症と思われる人がいて、自分や友達も対応に困る場面が多くなってきた。受診も適切な支援も受けていなさそうだが、**家族は何で気が付かないのか？**

これは非常に難しい問題です。家族の心理として、**認知症症状に気付くよりも、認知症と認めるということが非常に難しいのです。左の図は、認知症介護者の心理ステップを表したものです。**認知症症状に気が付くと、戸惑い、まずは認知症ではないと否定します。この時期には、周囲の者が最近行動や言動がおかしいと伝えても、『まさか、うちは大丈夫！もとからだ。』等と返答されることが多いです。もっと症状が進行していくと、混乱、怒り、拒絶の感情が芽生え、この時期には『なんで、できないの！』等と、場合によっては虐待につながるケースも出てきますので要注意です。

質問の回答としては、
気づかないのではない。
家族の心理状況として、
認知症と認めるまでに
時間がかかるのです。

